

発 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 2 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 佐々木 亨

次のとおり通告します。

発言順位	1 5	受領日時	12 月 2 日	午前・午後	10 時 50 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			・ 一括方式	発言時間	約 50 分
答弁を求める者	・市長・教育長・選挙管理委員会委員長・公平委員会委員長 ・農業委員会会長・監査委員・公営企業管理者					

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	小学生の朝の居場所づくりについて	<p>(1)小学生の朝の居場所づくりに関する課題を市が教育委員会と共有する必要があると考えるが、所見を問う。</p> <p>(2)こどもの居場所づくりコーディネーターを配置して、さらにこどもの居場所づくりを推進してはどうかと考えるが、本市の見解を問う。</p> <p>(3)小学生の朝の居場所づくりに係るニーズの有無や最適な運営方法などの調査を行うことについて</p>
2	日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度と子ども医療費助成制度について	<p>(1)子ども医療費助成制度について</p> <p>①子ども医療費受給資格証を提示せずに、子ども医療費助成制度の適用を受けることはあるのか。</p> <p>②マイナ保険証と子ども医療費受給資格証は連携しているのか。</p> <p>(2)子ども医療費の返還について</p> <p>①令和6年度において、日本スポーツ振興センターの災害共済給付金が支給されるにもかかわらず、重複して子ども医療費助成制度による助成を受けたために、当該助成金の返還を求めた件数を問う。</p> <p>②令和6年度において、子ども医療費の返還が発生したケースについて、主な原因を問う。</p> <p>(3)子ども医療費の返還が発生した場合の原因分析と再発防止に向けた取組について</p>
3	児童虐待について	<p>(1)児童虐待の種類と定義を問う。</p> <p>(2)児童虐待防止の啓発のためにどのような取組を行っているのか。</p> <p>(3)児童虐待の可能性に気づいた人がためらうことなく通告できるような環境づくりについて</p> <p>(4)児童虐待防止の観点から、本市が放課後等デイサービスの事業者とどのように関わっているのか問う。</p>

